

大会紹介 六校戦



「六校戦」は、旧第3学区の都立高校が集まり開催したのが始まりで、2024年で66回目の伝統ある大会です。コロナ禍前は最大で300名を超える選手が参加していました。水泳を始めたばかりの初心者から、インターハイ出場選手まで、幅広い選手たちがそれぞれの目標に応じて参加します。また、予選と決勝があり、各種目3位まで表彰台で表彰が行われます。決勝の順位により点数が加算され、総合得点でチーム(総合、男、女)の順位も競い合います。会場は参加校持ち回りで、2024年は都立石神井高校でした。大会の運営は各校OB・OGから構成される六校戦運営委員会が中心となり、OB・OGや参加各校からの役員の協力で行います。

本大会は選手と応援者の距離が近く、公認大会にはない雰囲気があります。このように、誰もが参加でき、水泳の楽しさ、チームで競い合う一体感が感じられる素晴らしい大会です。



選手宣誓

大会の運営



大会風景

2024年大会概要

- 開催日：8月16～18日(初日競技は台風のため順延)
- 参加校：都立高校10校(エントリー171名)
井草高校、大泉高校、鷺宮高校、石神井高校、杉並高校、千早高校、豊多摩高校、西高校、練馬高校、武蔵丘高校
- 優勝校
男子：杉並高校、女子：石神井高校、総合：石神井高校



大会会場(石神井高校)



水泳部紹介シリーズ#8
東京都立保谷高等学校水泳部

はじめまして、保谷高校水泳部です！
わたしたちは2年生5人、1年生9人の計15人で活動しています。
オンシーズンはプールでスイム練習、オフシーズンは陸上トレーニングをしながら、定期的に記録会や大会に参加しています。モットーは「1年生は先輩の姿を見て泳ぐ、2年生は部のために泳ぐ、3年生は自分のために泳ぐ」。例年8月に行われる十六校大会で、全員がベストを出すことを目標に活動しています。
保谷高校のプールは9レーンで、スタート台や飛び込み練習に十分な深さがあるなど、水泳の練習を行う上で非常によい環境です。少人数だからこそそのアットホームな雰囲気、和気あいあいとしながらも、互いに切磋琢磨して練習に取り組んでいます。高校から本格的に水泳をはじめた部員もいますが、ぐんぐんベストタイムを伸ばしています。
来年度も目標達成に向けて部員一同、がんばっていきます。ぜひ応援のほどよろしくお願いします！



顧問、コーチ、選手、マネージャーの皆さん



練習風景



プール

顧問の先生、コーチによる指導の元、和やかな雰囲気の中でもしっかり気を引き締めて練習に取り組まれました。プールは広くて水深も深く波消し性能の高いコースロープがあり、とても泳ぎやすそうでした。(編集委員より)